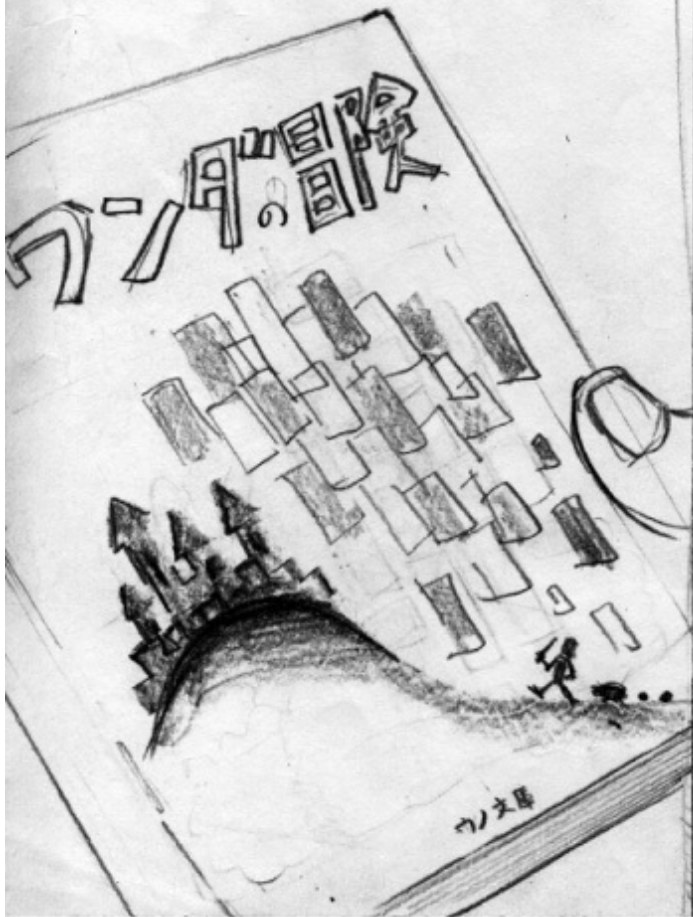
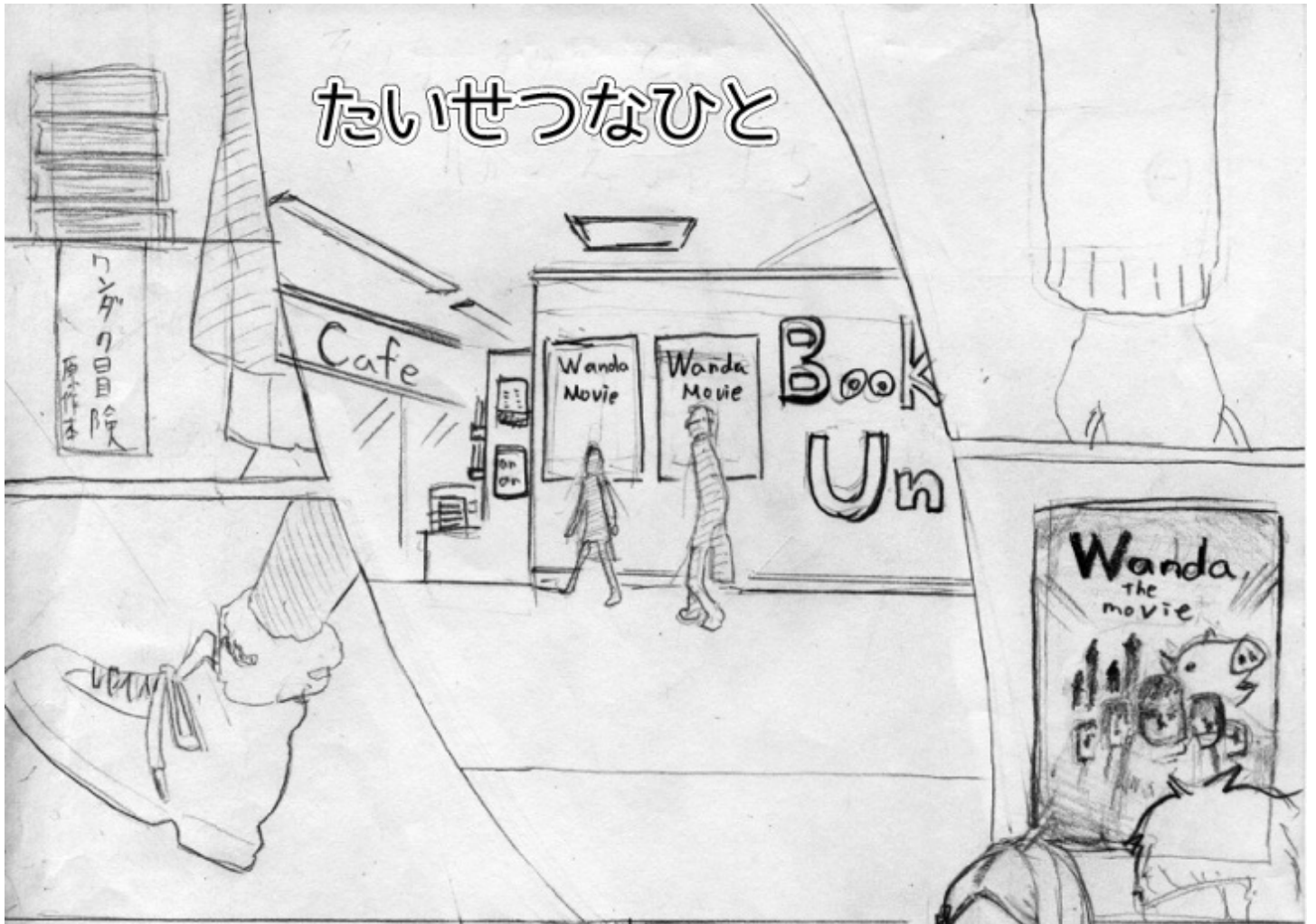
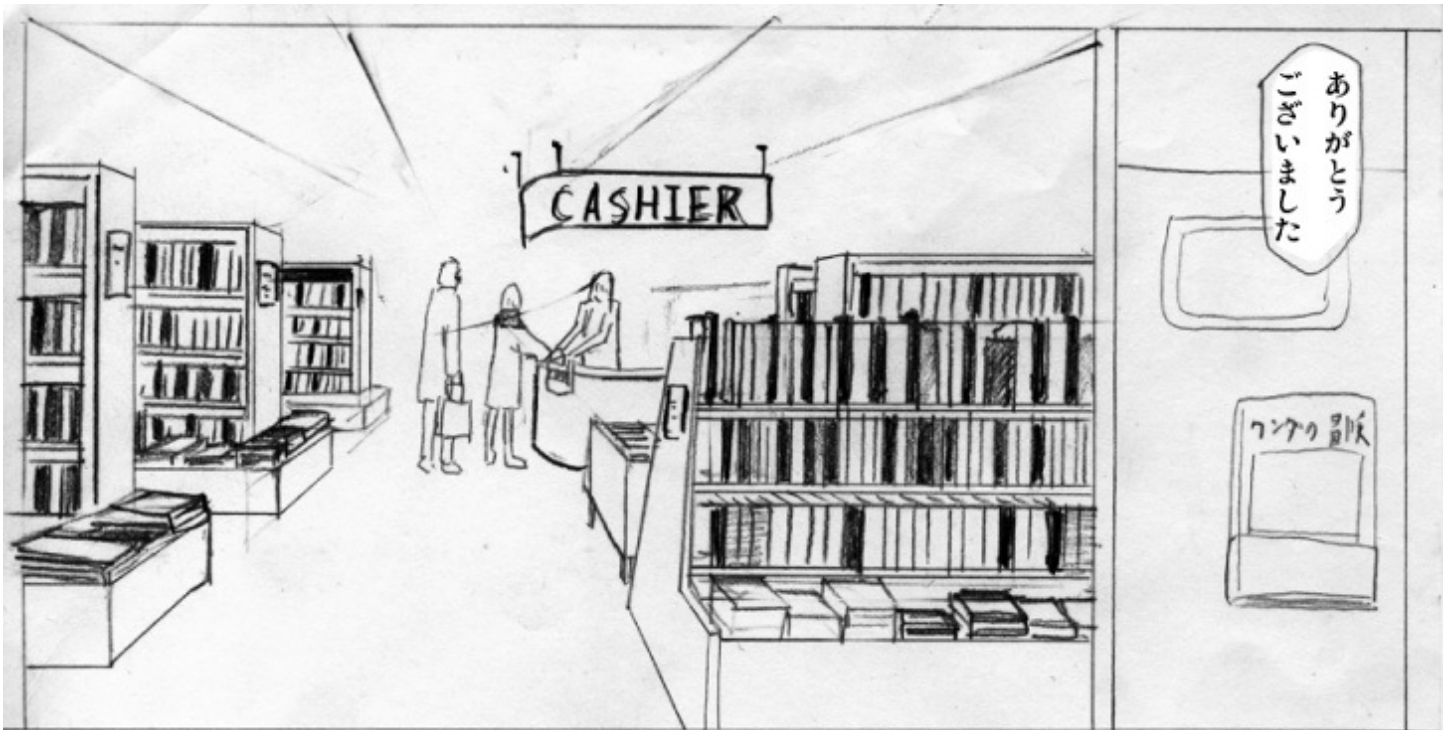


たいせつなひと



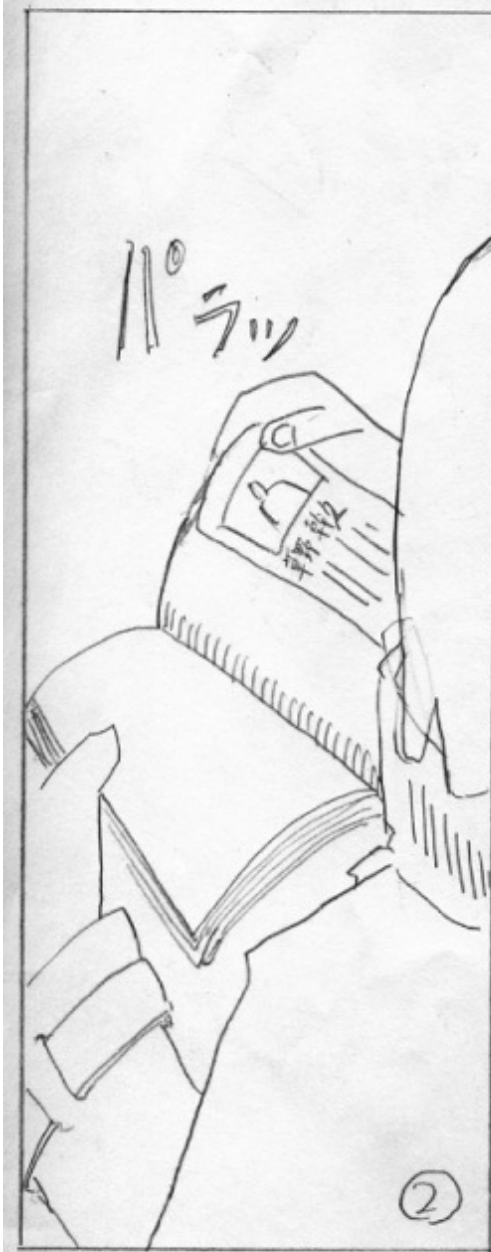
たいせつなひと





ありがとうございます
ございました

ワケウ 品販



ワケウ

2



欲しければ
あげるよ

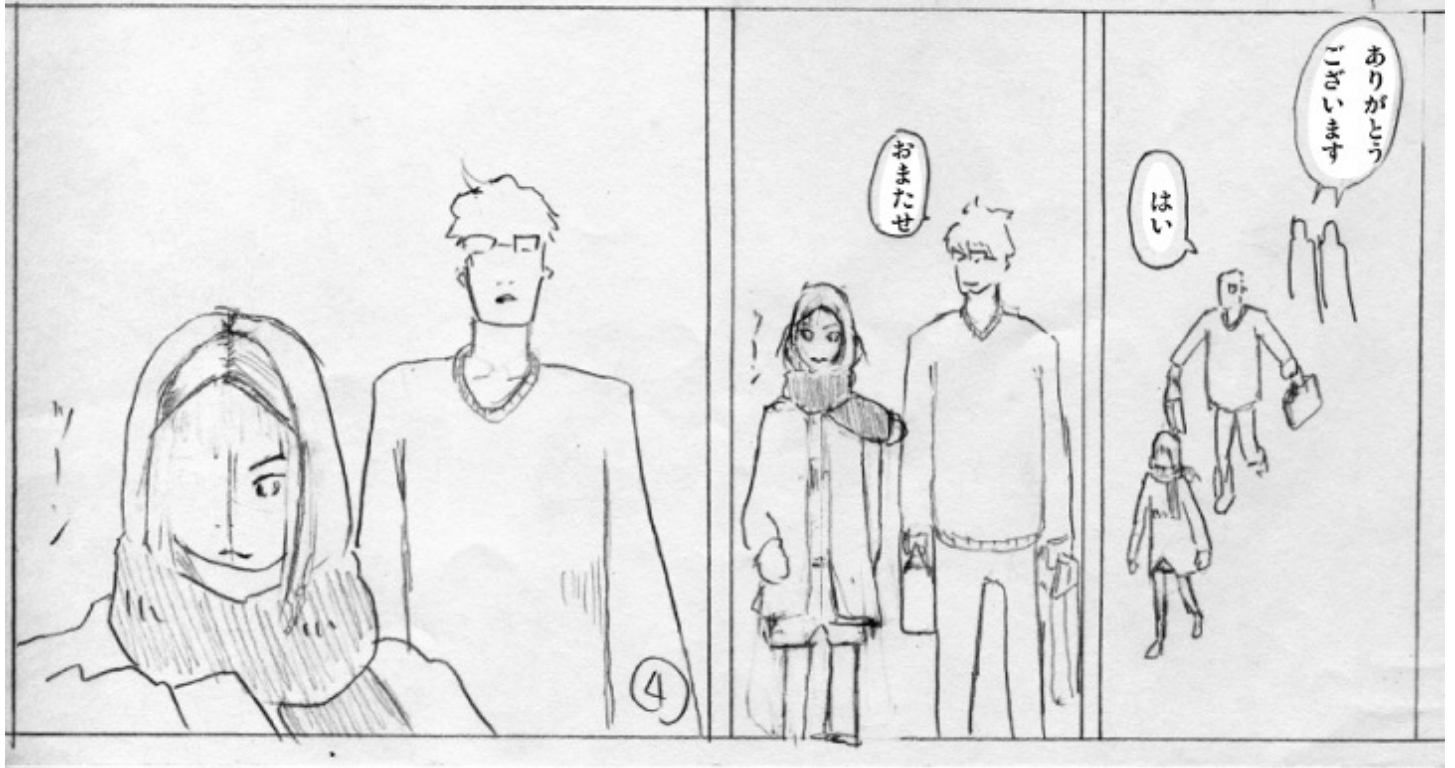
家にあるから

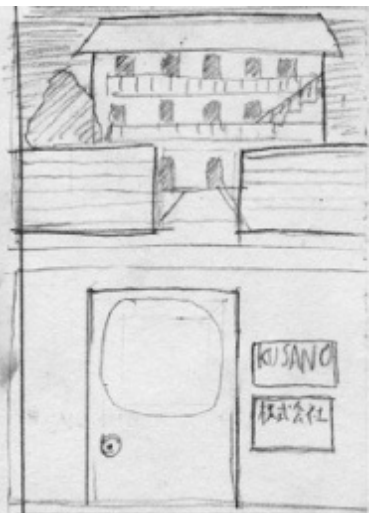
いらない

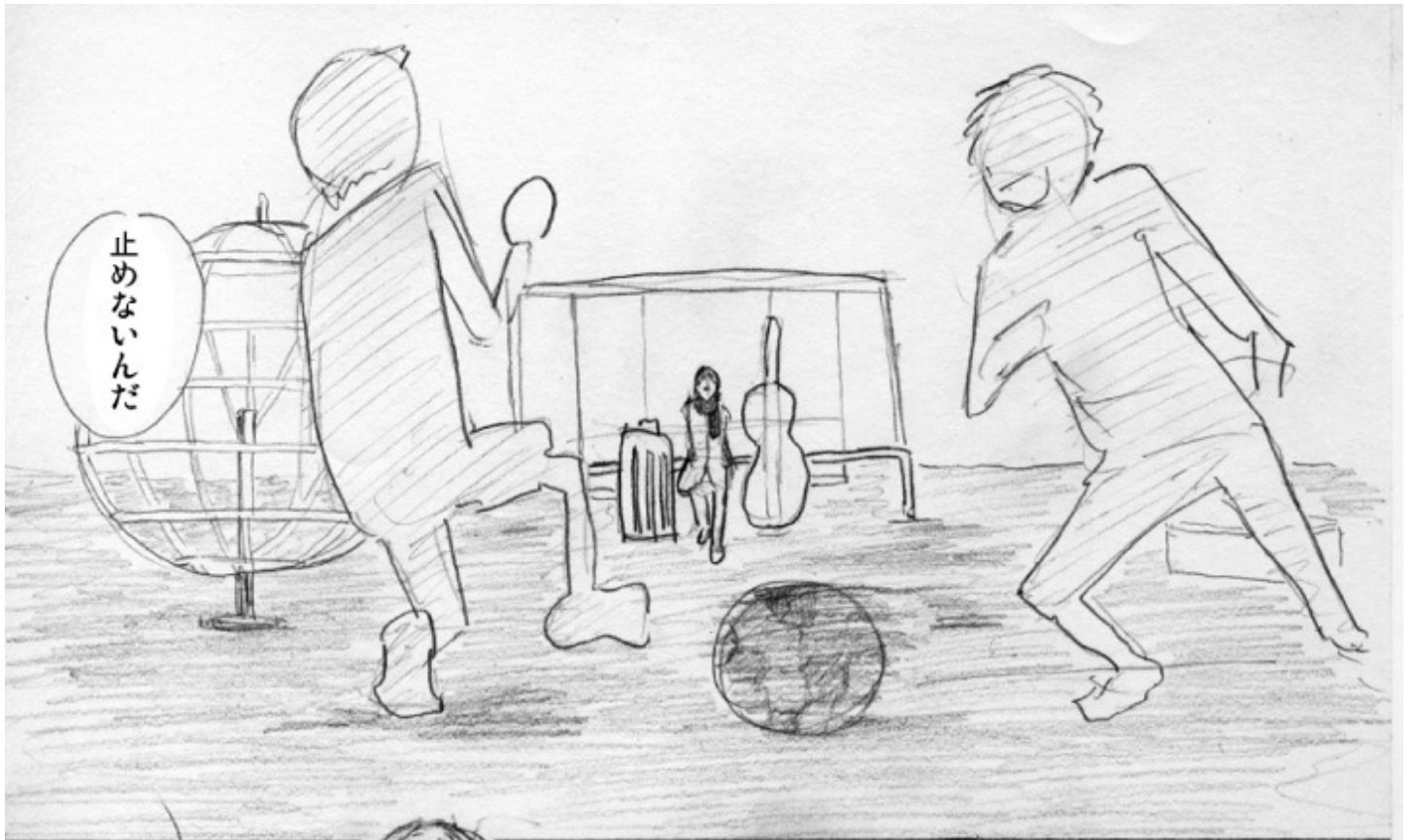
#

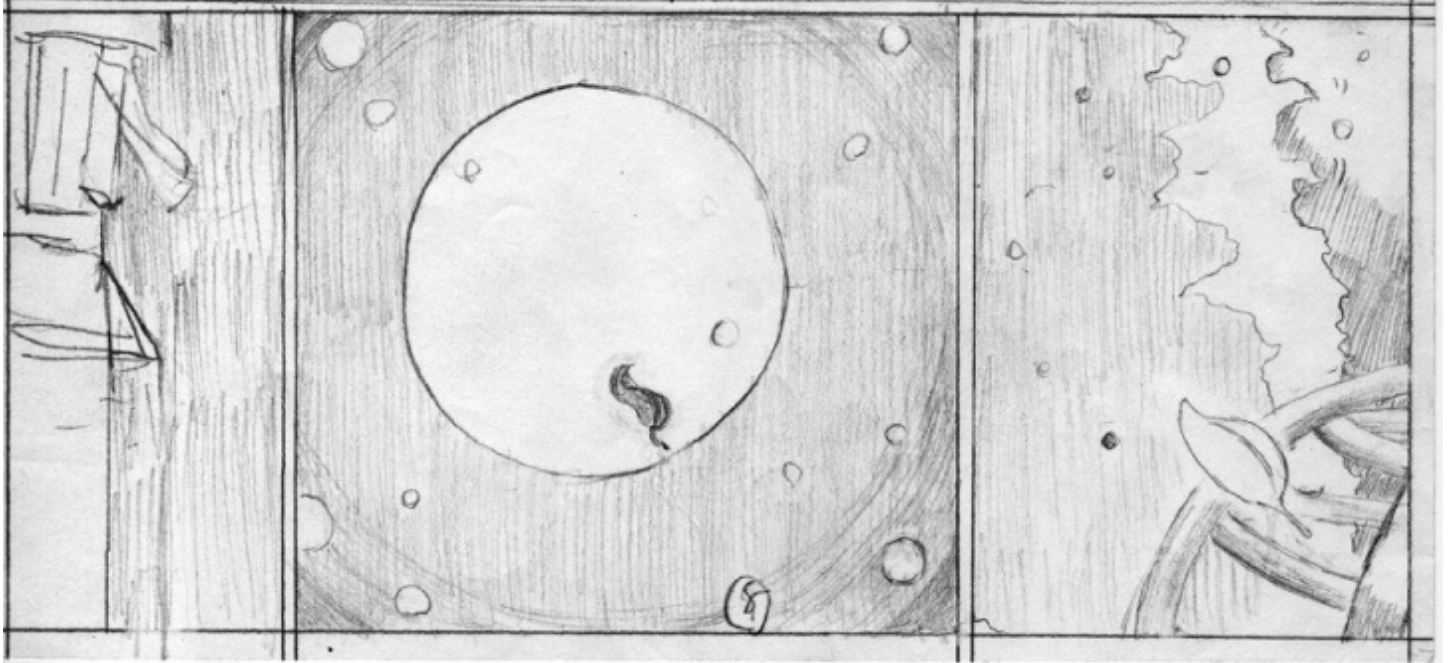
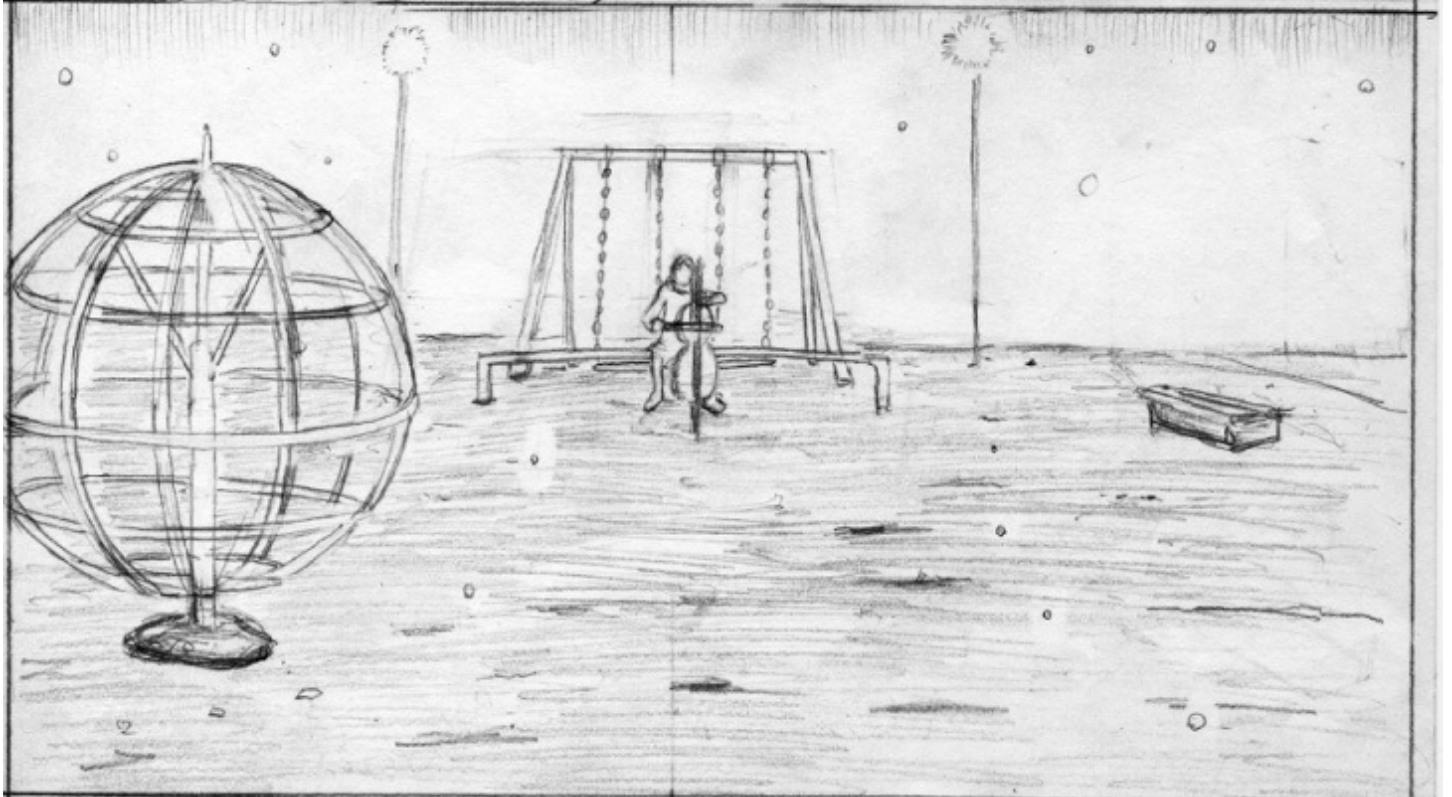
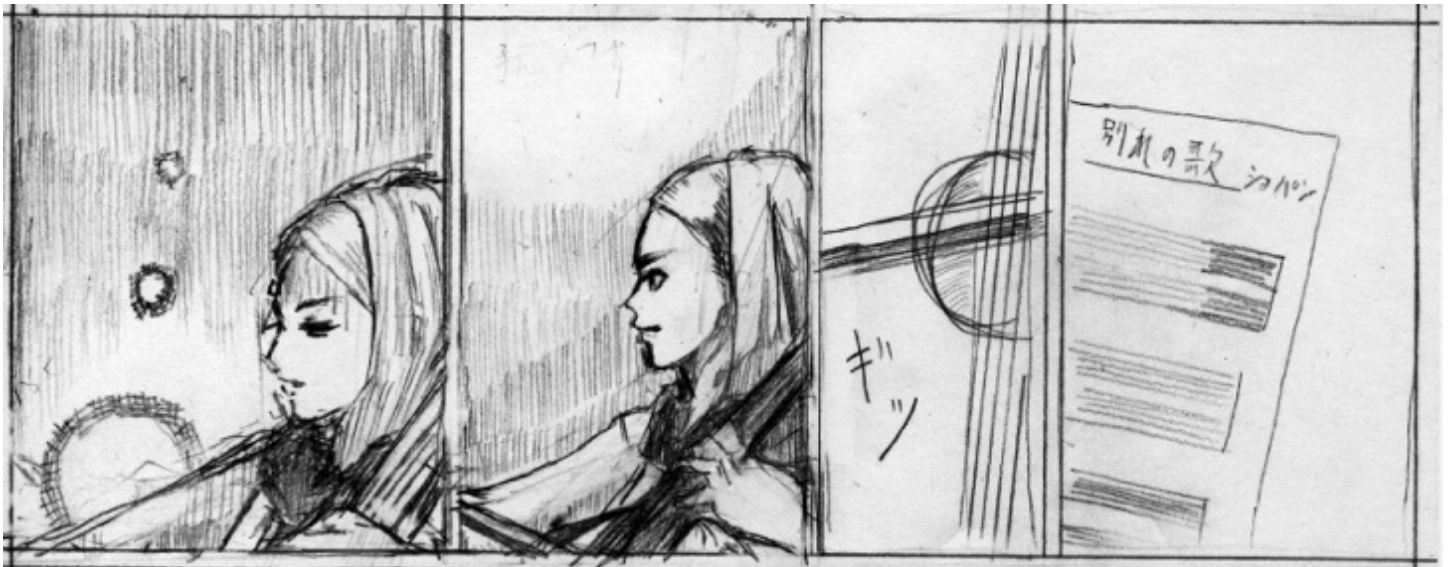
x

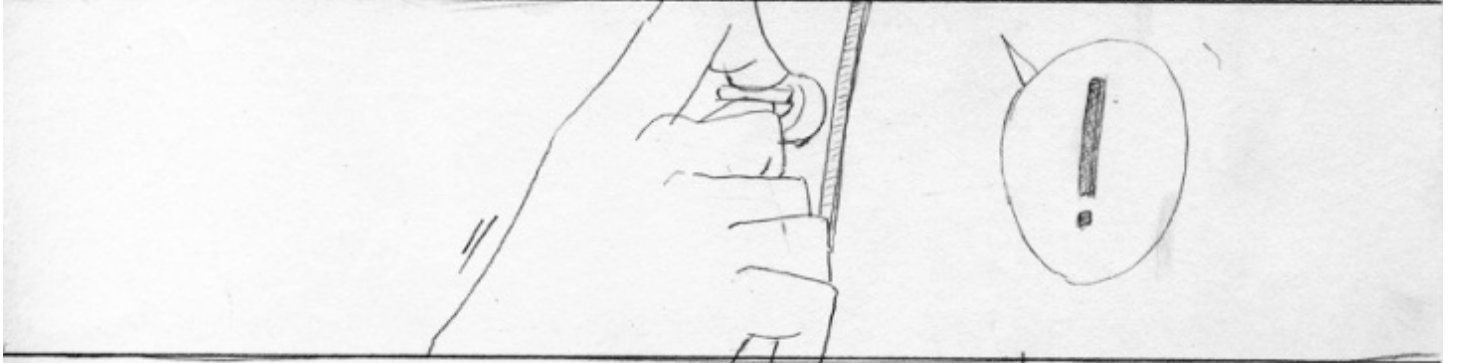
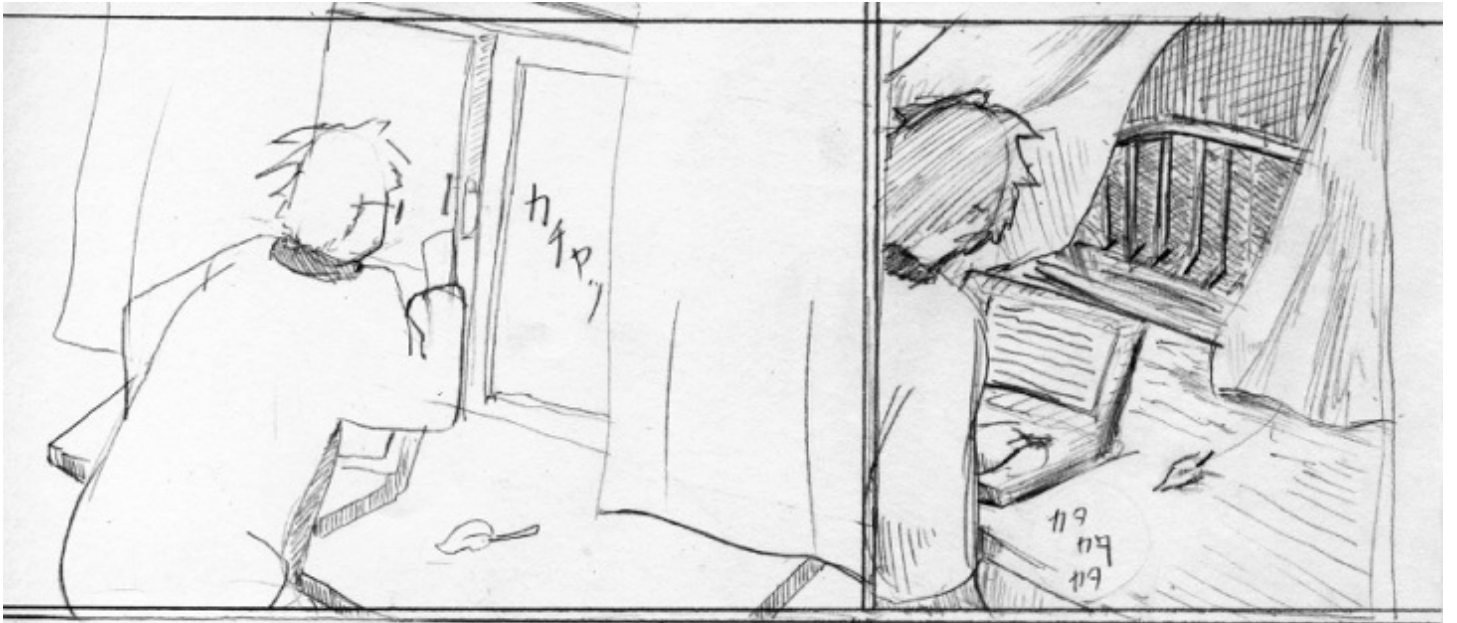


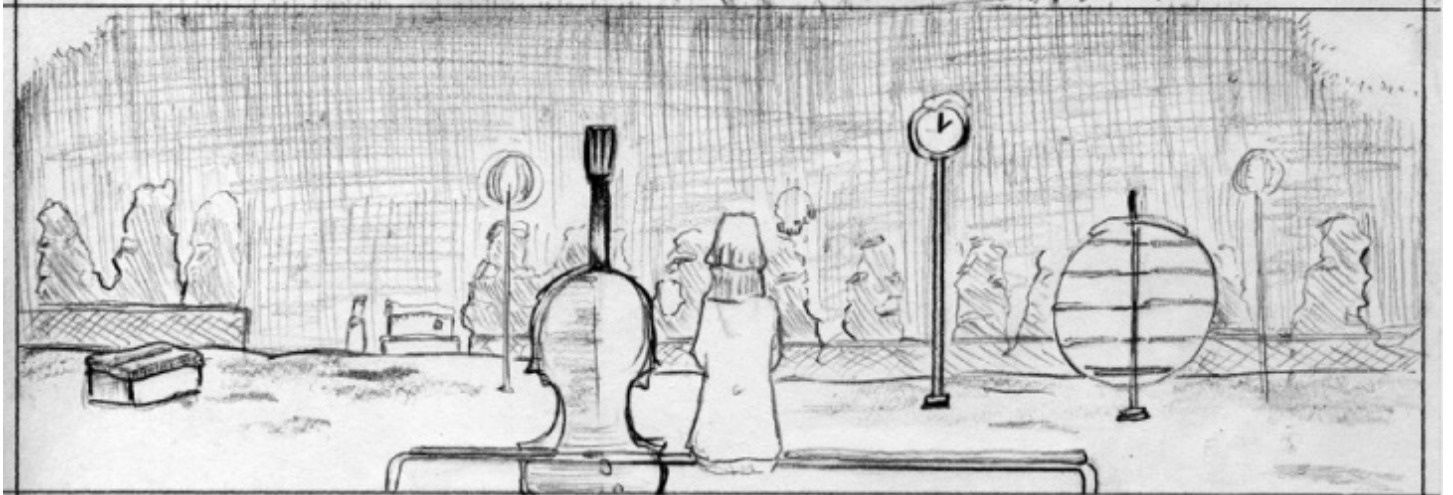








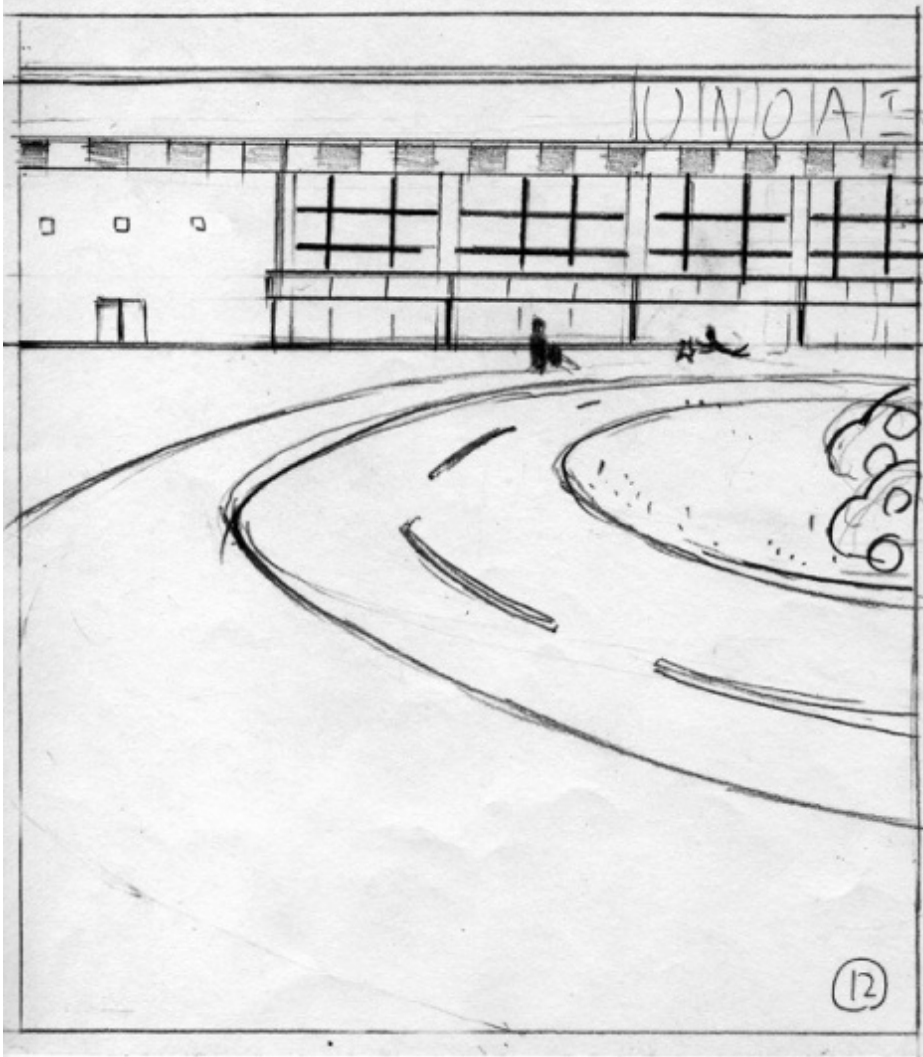
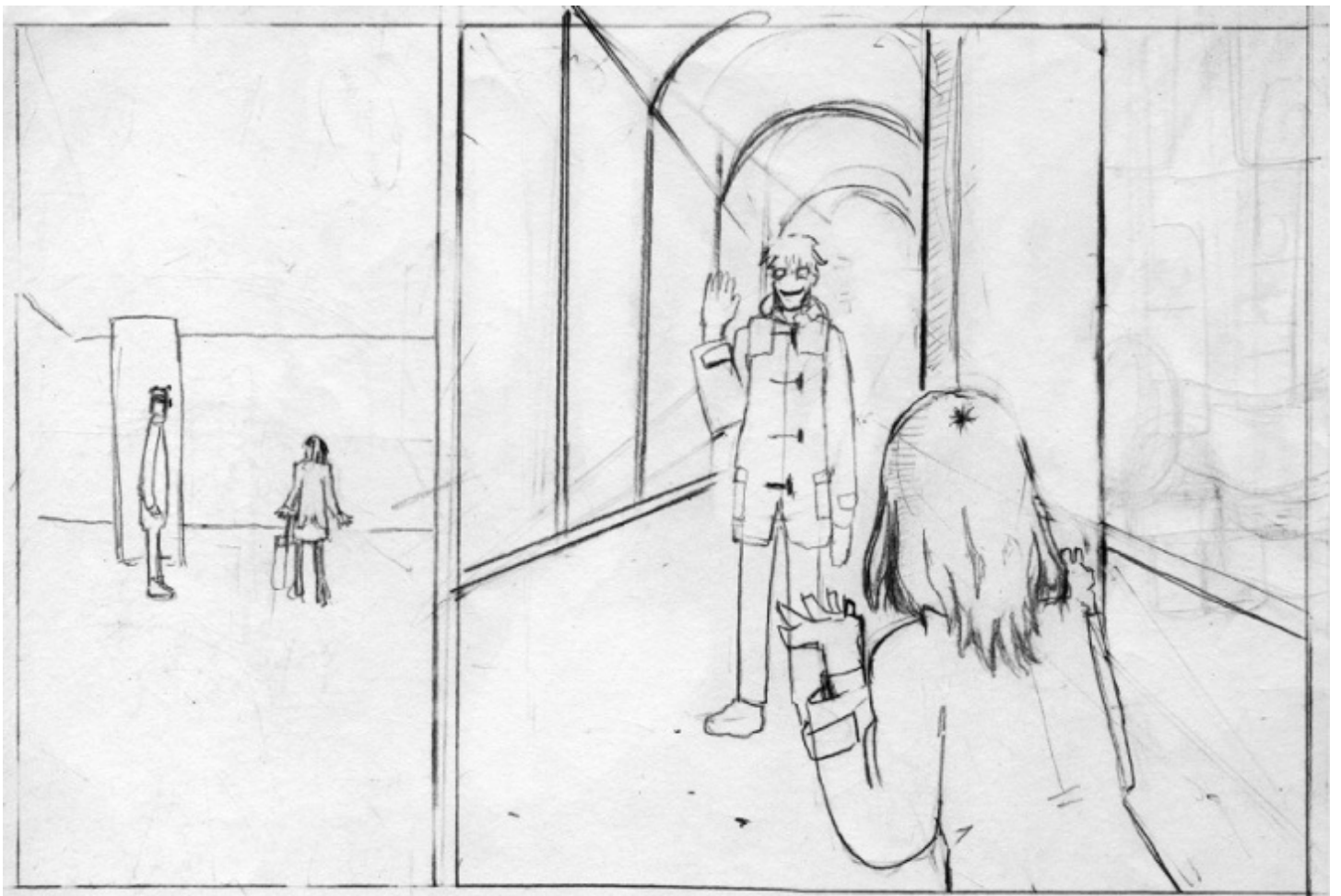


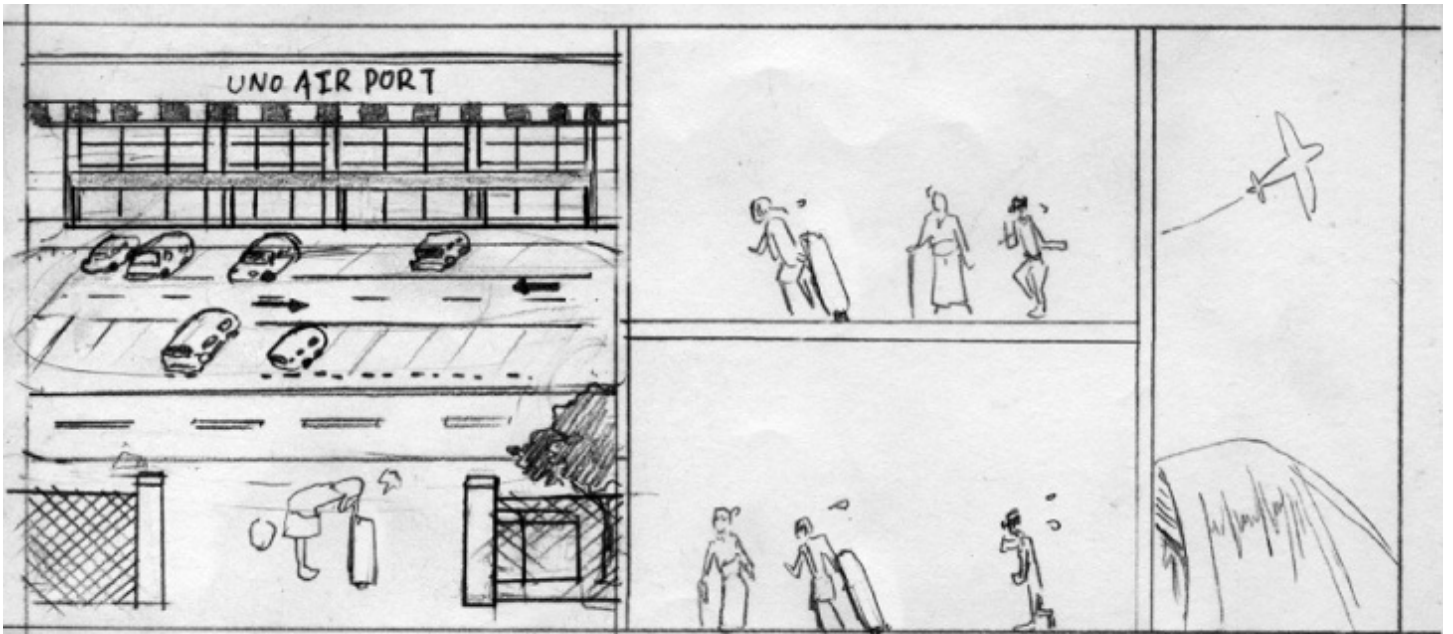


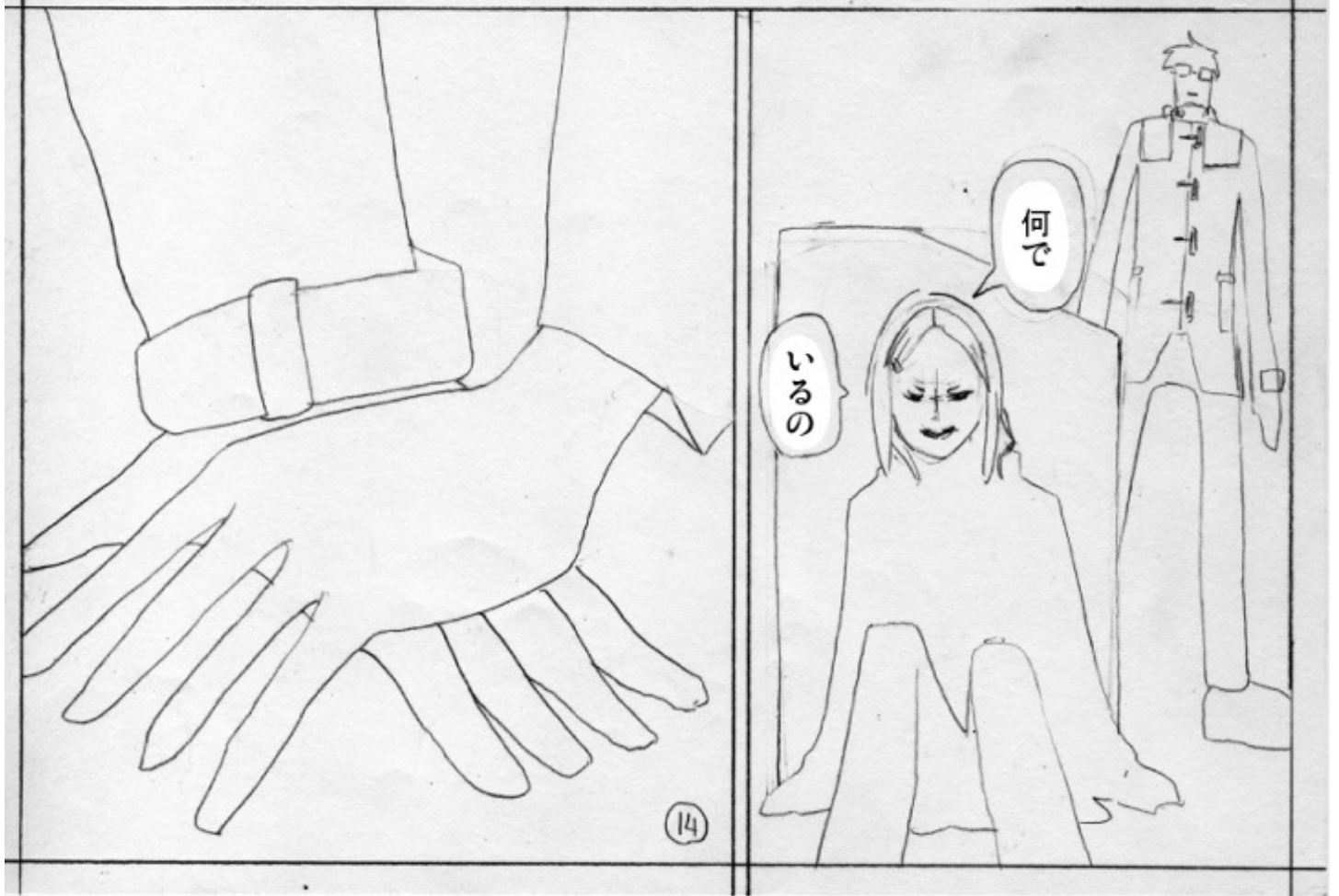
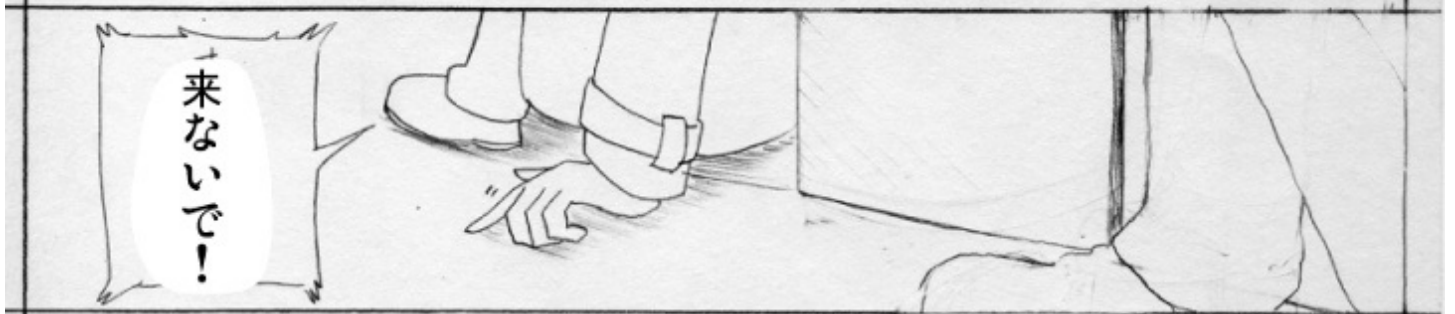
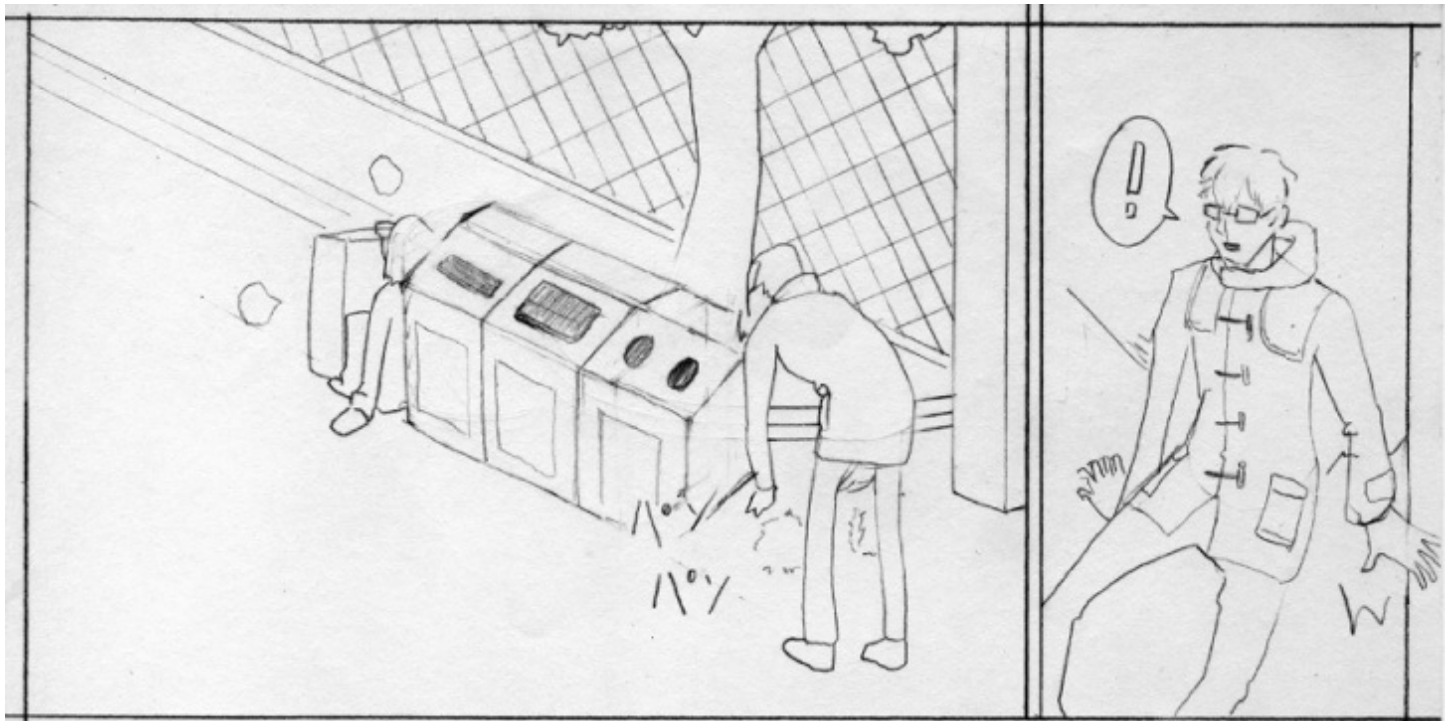
UNO AIRPORT

11









言ったはずよ

うん
憶えている

興ざめ

空気読むのが
苦手なんだ

……二度と
日本には帰ら
ないから

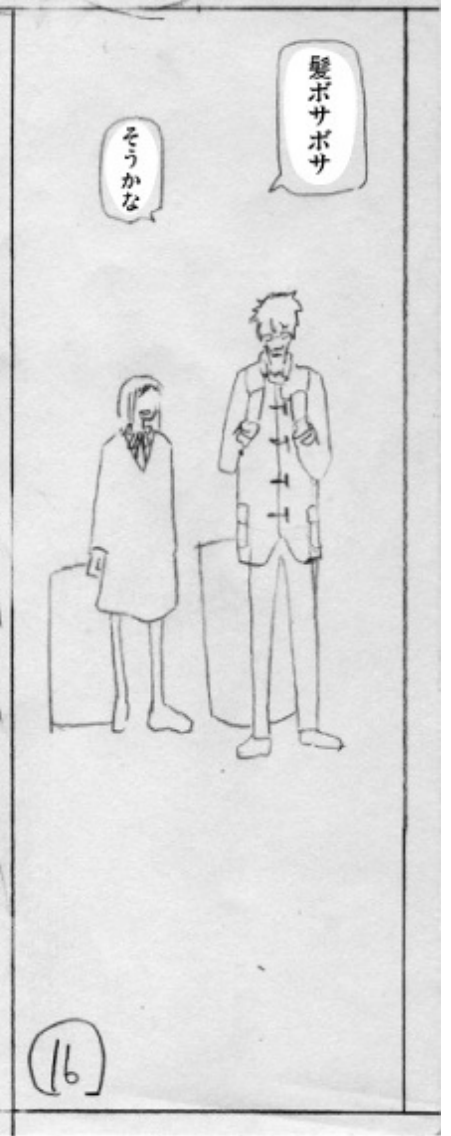
会いに
いくよ

部屋が汚れる

片付けられる
ようになるよ

大嫌
い

期待して
いない



瞳の良い所はいつも
前を見て歩いている
ことだ

瞳は
やれるよ

小さな体なのに
大きな歩幅で
ずんずん歩く

やめてよ

きれいな事は
嫌いな

根拠は
あるよ

僕は瞳の
ファンだから

向こうでも前を
見て歩いている
だろうなって

小説家には
大切な素質だ



X



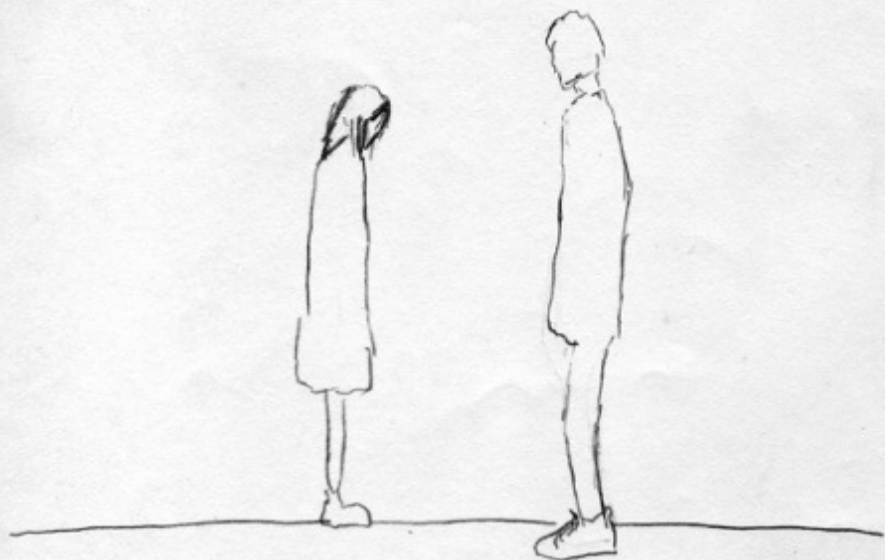
でも僕は
そう思う

そうかな

……買い
被ってる

X

行ってきます

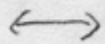


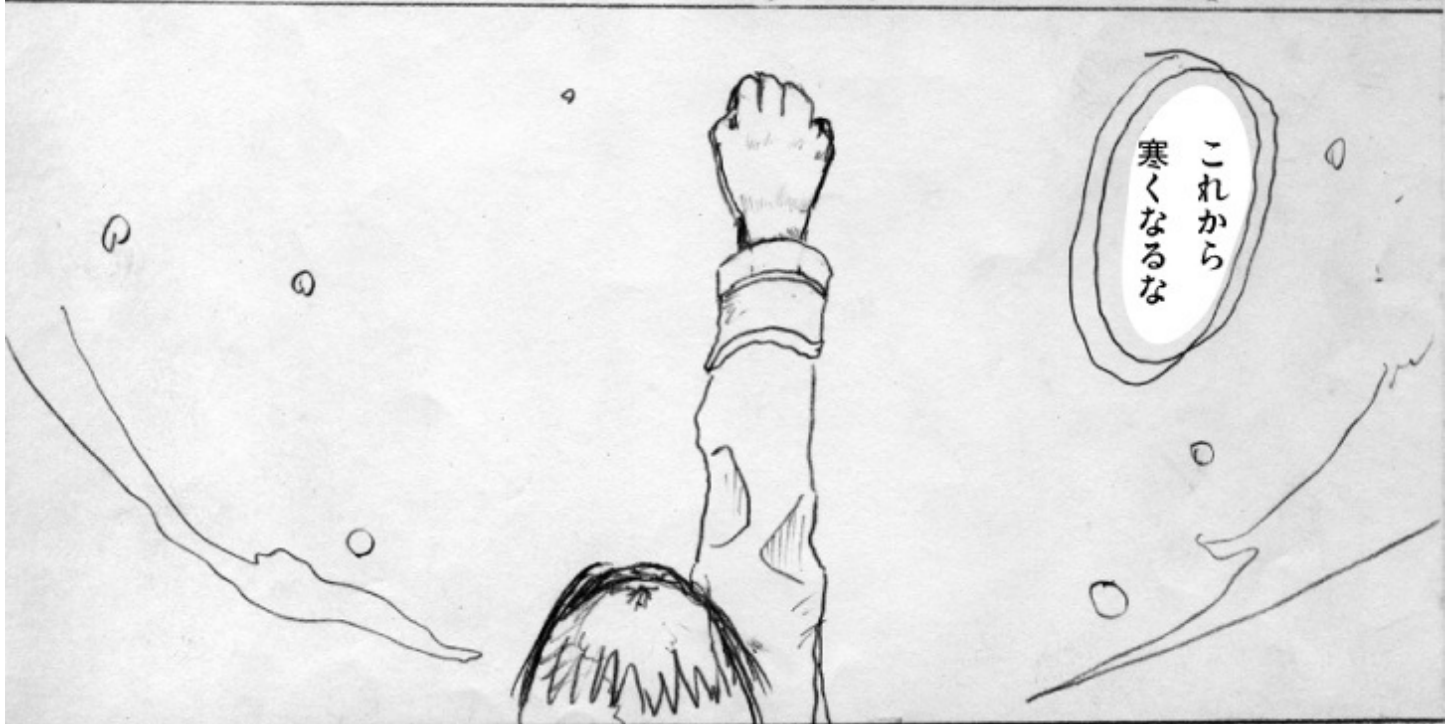
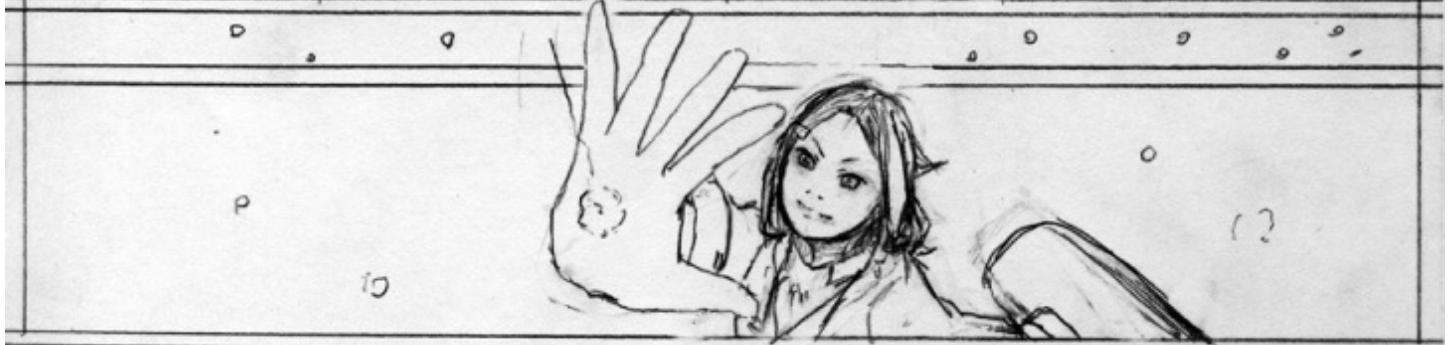
(18)



この先
何があっても

ありがとう。きっと
私はやっていける





私には特別な人がいます



とても優しい世界
を作る小説家です

彼は弱さを知っ
ているから強い

私は彼といると駄目
になると思いました

今度、彼に会う
時は胸を張って
言いたい



彼は私の
恩人で

私は彼の
恋人だ

END